

三菱化工機グループ DX戦略

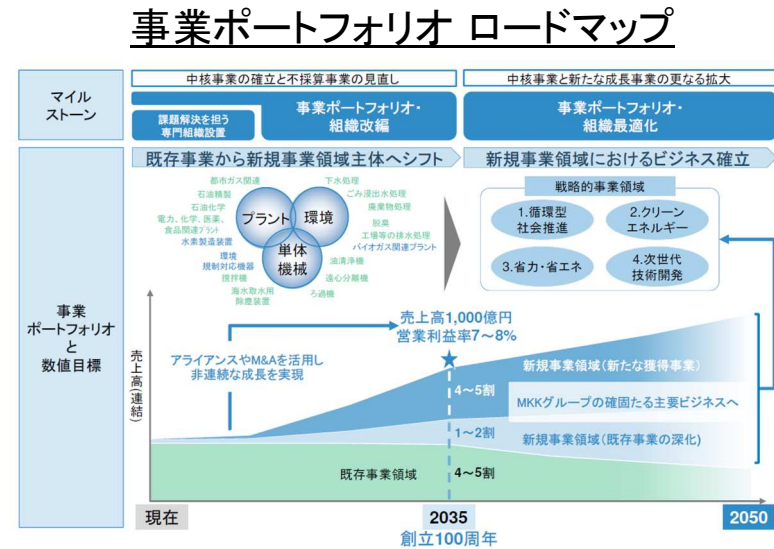
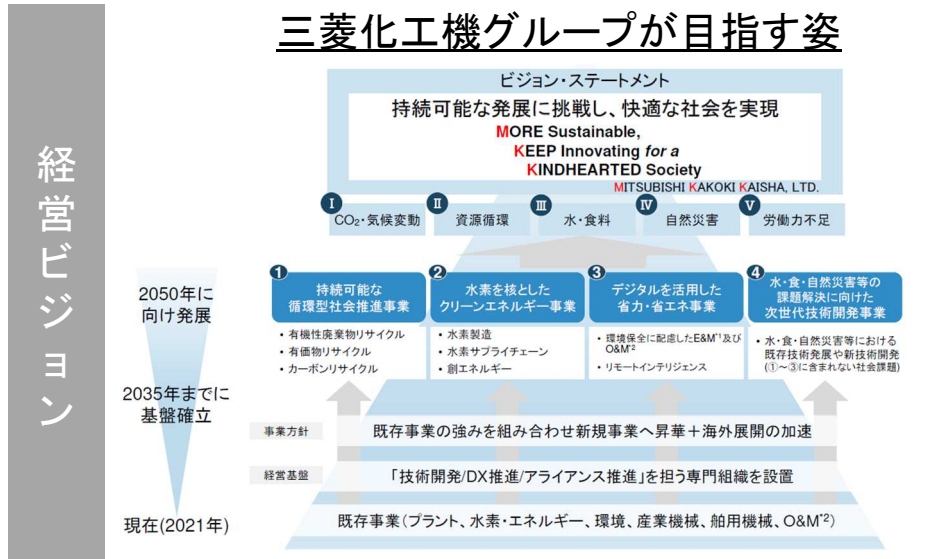
2023年11月

1. 経営ビジョン(※)とDX戦略の関係
2. DX戦略の検討アプローチ
3. 三菱化工機グループDX戦略
4. DX戦略詳細
5. DXロードマップ
6. DXロードマップの全体の流れ
7. DX推進に向けた組織・体制

(※)三菱化工機グループ2050経営ビジョン

1. 経営ビジョン(※)とDX戦略の関係

- 「三菱化工機グループ2050経営ビジョン」の実現には、デジタル化・DXが必要不可欠と考え、DX活動の加速と全社的な推進を目的として「三菱化工機グループDX戦略」を策定



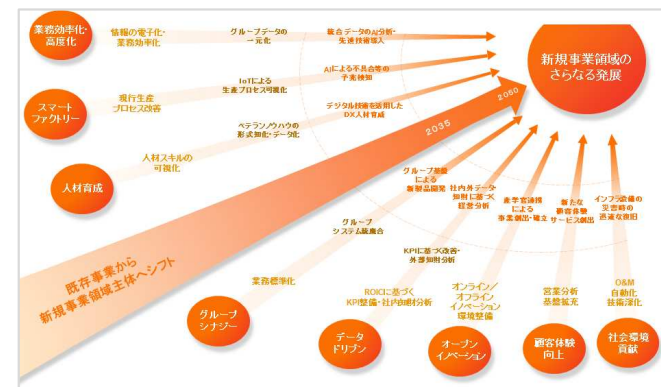
戦略的業務領域の取組促進

三菱化工機グループのDX



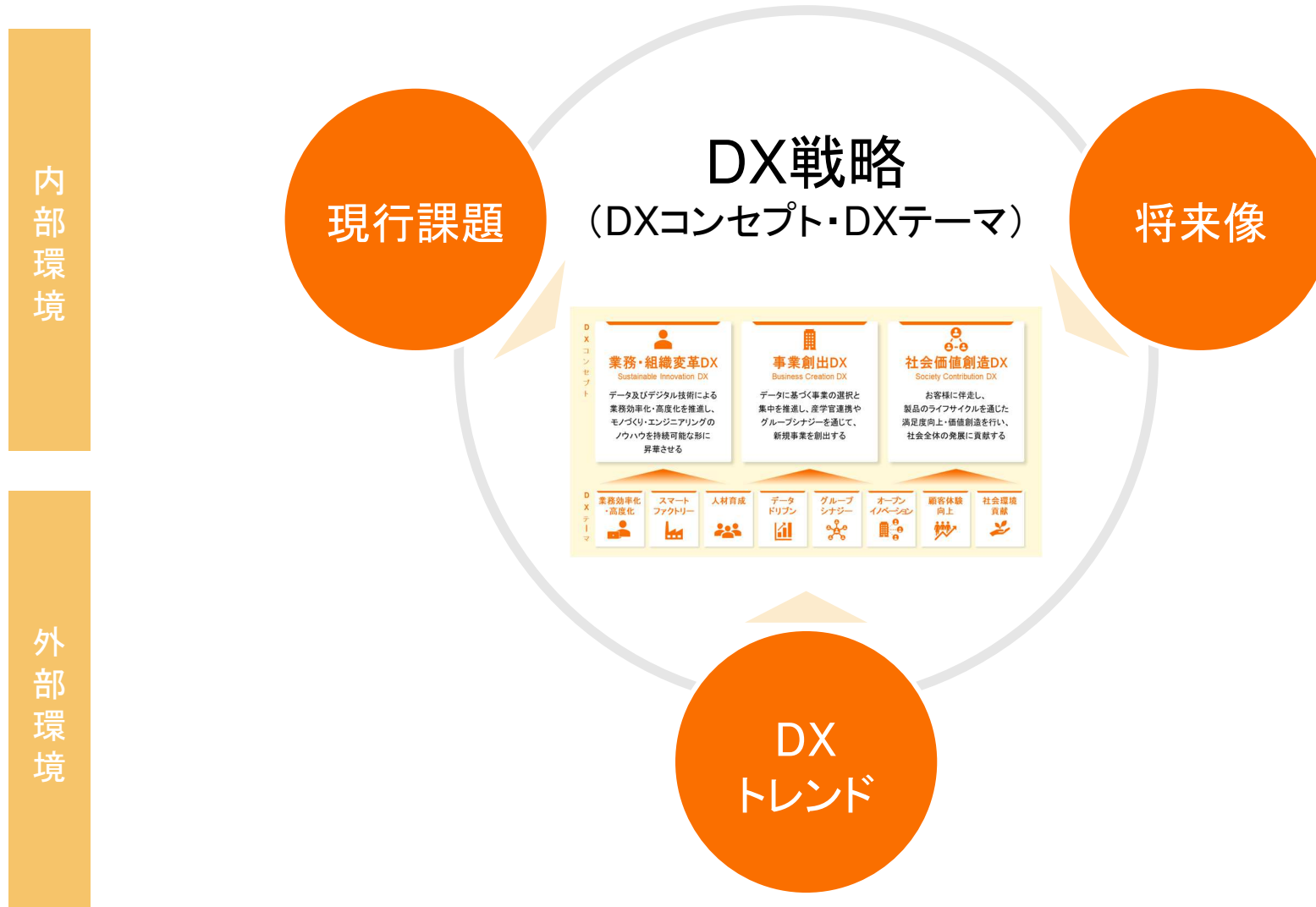
新規事業へのシフトの加速

DXロードマップ



2. DX戦略の検討アプローチ

- DX戦略の検討にあたり、三菱化工機グループが抱える現行課題の解消や、将来像の方向性を議論し、更に世の中のDXトレンドを踏まえたDX戦略を策定



3. 三菱化工機グループDX戦略

三菱化工機グループのDX

業務の効率化にとどまらず、デジタル技術・データの活用を通じて、ビジネスの創出や持続可能な組織への変革を加速し、社会課題解決のために新たな価値を創造する

DX
コ
ン
セ
プ
ト



業務・組織変革DX

Sustainable Innovation DX

データ及びデジタル技術による業務効率化・高度化を推進し、モノづくり・エンジニアリングのノウハウを持続可能な形に昇華させる



事業創出DX

Business Creation DX

データに基づく事業の選択と集中を推進し、産学官連携やグループシナジーを通じて、新規事業を創出する



社会価値創造DX

Society Contribution DX

お客様に伴走し、製品のライフサイクルを通じた満足度向上・価値創造を行い、社会全体の発展に貢献する

DX
テ
ー
マ

業務効率化
・高度化



スマート
ファクトリー



人材育成



データ
ドリブン



グループ
シナジー



オープン
イノベーション



顧客体験
向上



社会環境
貢献

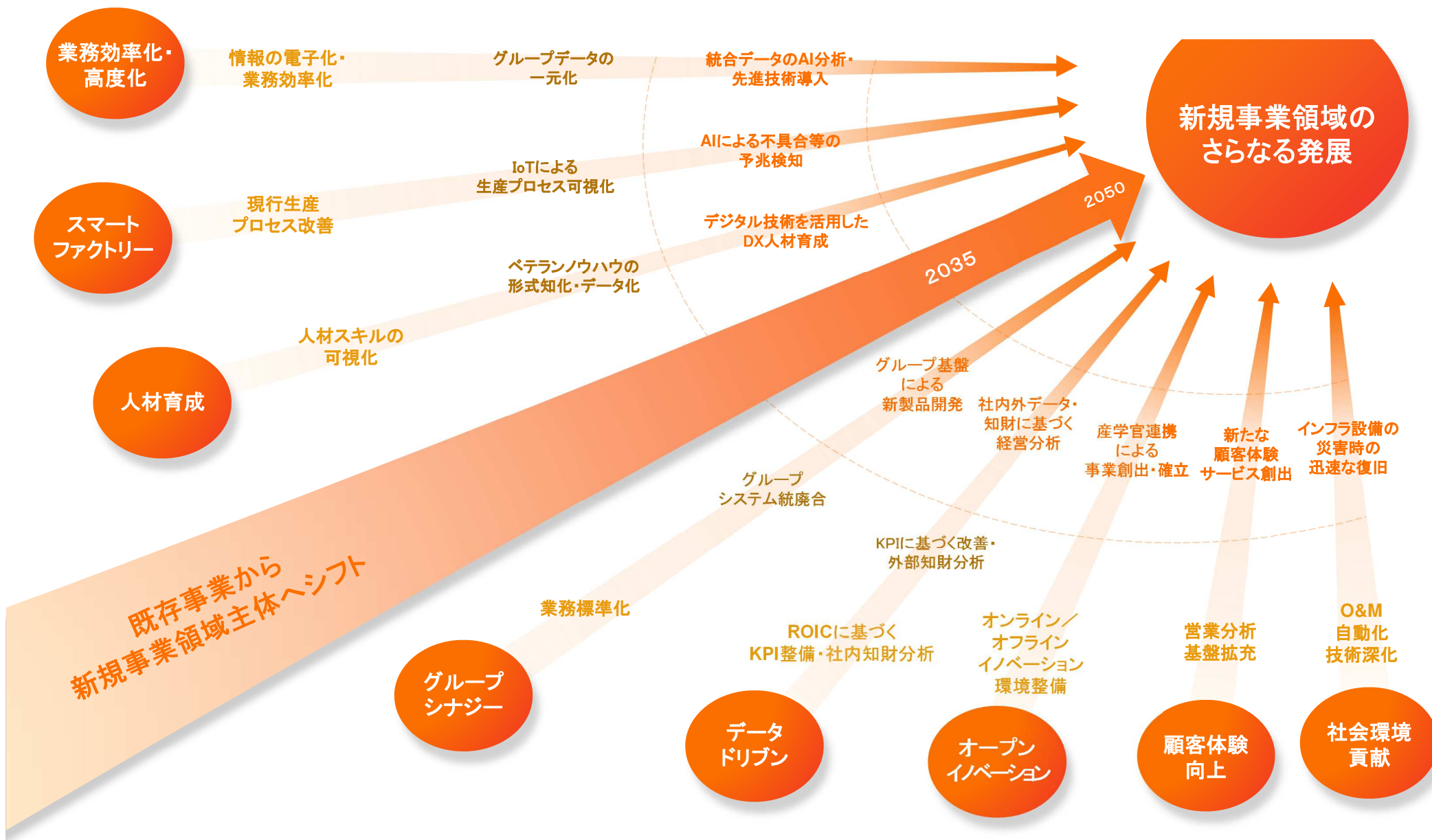


4. DX戦略詳細

- DXコンセプト・DXテーマを通じて、「三菱化工機グループ2050経営ビジョン」で掲げる目標の達成を目指す

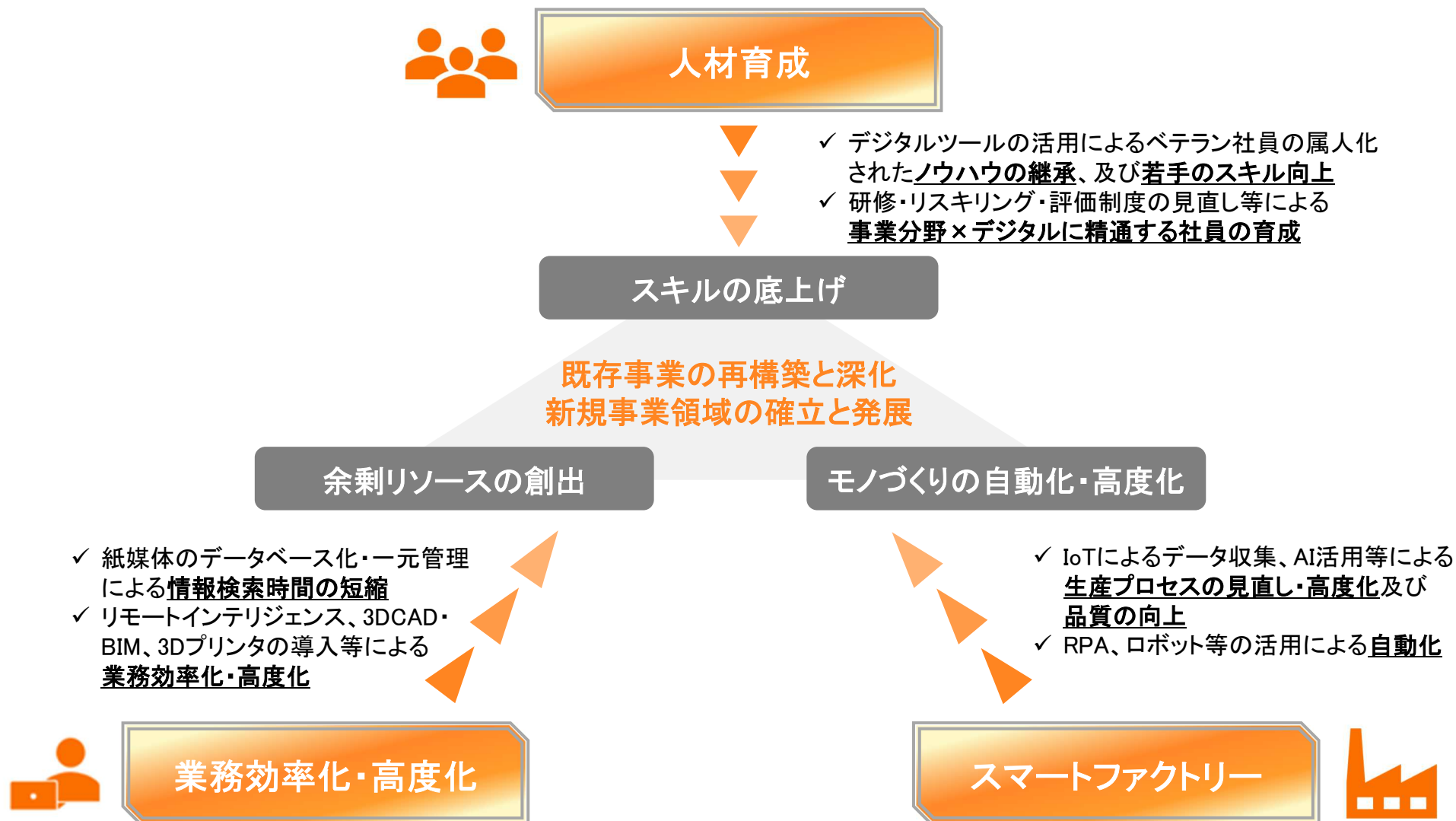
DXコンセプト	DXテーマ	実現を目指す姿	取り組み施策例
業務・組織変革DX	業務効率化・高度化	業務に関わる情報が電子化・一元化され、それらの情報やデジタル技術の活用によって社員の生産性が向上し、より高度な業務にチャレンジできる環境が整えられている	<ul style="list-style-type: none"> 紙媒体のデータベース化および一元管理 データ・デジタル技術活用による業務効率化・高度化
	スマートファクトリー	ビッグデータ/AI、IoT、ロボットなどの技術やデータ活用により、エンジニアリングチェーンやサプライチェーンが最適化・自動化されている	<ul style="list-style-type: none"> モノづくりの自動化・高度化 プロトタイプ型事業創出
	人材育成	三菱化工機グループ内で組織や世代を超えたノウハウの共有・継承が行われ、各社員の個性や強みを活かしたキャリアが実現されている	<ul style="list-style-type: none"> 属人化されたノウハウの形式知化および展開 ビジネス×デジタル人材の育成
事業創出DX	データドリブン	客観的なデータに基づき、既存事業の選択と集中や、新規領域への投資判断、アライアンス先の選定がタイムリーに行われ、VUCA時代に適応した企業体質が実現されている	<ul style="list-style-type: none"> ROIC経営の全社浸透 データに基づく新規事業推進
	グループシナジー	全体最適化されたシステムやデータ基盤を通じて各本部・グループ会社が保有するノウハウが組み合わせり、グループシナジーが発揮されている	<ul style="list-style-type: none"> グループ横断の業務標準化 グループ連携を通じた価値創出・競争力向上
	オープンイノベーション	産学官連携によるオープンイノベーションを加速させ、経営ビジョンで掲げている5つの社会課題の解決に向けた新たな価値が創造されている	<ul style="list-style-type: none"> イノベーション創出環境の整備 産学官連携スキーム構築
社会価値創造DX	顧客体験向上	フィージビリティスタディ・提案から納品・アフターサービスまで、一連のサイクルにおける顧客の成功体験に寄与する製品・サービスが開発・提供されている	<ul style="list-style-type: none"> 製品・サービスの付加価値向上 営業・マーケティングの高度化
	社会環境貢献	エンジニアリングチェーン・サプライチェーンにおける各プレイヤーや関連ステークホルダーと協業し、新たな社会価値が創造されている	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーンの脱炭素化 水・食・自然災害等の課題解決に係る技術開発の促進

5. DXロードマップ



6. DXロードマップの全体の流れ

業務・組織変革DX



6. DXロードマップの全体の流れ

事業創出DX

社会価値創造DX



顧客体験向上

- ✓ 顧客特性に応じた製品づくり、サービス提案の実現
- ✓ ライフサイクル全体を通じた顧客接点の強化

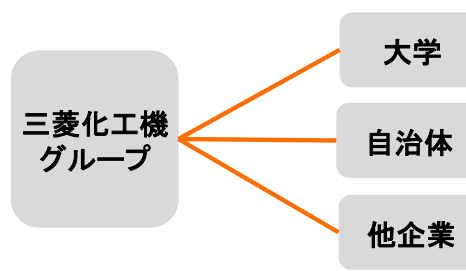
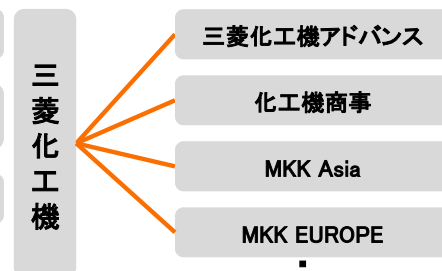
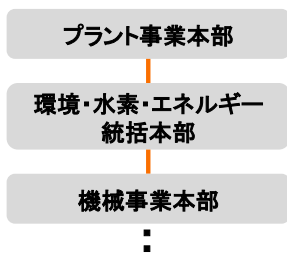
社会環境貢献

- ✓ サプライチェーンの脱炭素化の実現
- ✓ 水・食・自然災害等の課題解決に係る技術開発の促進

新規事業の芽の創出

社内連携

社外連携



グループシナジー



オープンイノベーション

データに基づく有効かつ迅速な経営判断の実現

データドリブン

新規事業の基盤づくり

既存事業の再構築と深化

- ✓ 新規事業へのリソースの投入

業務効率化・高度化

スマートファクトリー

人材育成

社内知財の見える化

- ✓ 社内知財の棚卸し・データ化を通じた、自社の強みを生かした新事業の方向性・提携先・役割の検討

データドリブン

クイックなモノづくり環境

- ✓ タイムリーに柔軟なモノづくりができる環境を整備・活用した外部との連携強化

スマートファクトリー

7. DX推進に向けた組織・体制

- ・ 2022年4月に全社DXの支援・推進を目的として、「DX推進部」を設置
- ・ 2023年7月にDX活動を全社的に加速させることを目的として、グループ各社より選出したメンバーで構成した「DX推進委員会」を設置
- ・ DX推進委員会は、DX戦略およびDXロードマップとの整合性を確認しながら、グループ各社のDX施策の推進を担い、委員会で各施策の取組み状況について共有を行う
- ・ DX戦略の達成状況はDXロードマップを詳細工程に落とし込み、定期的に達成状況を確認する



組織	役割
グループ各社	各DX施策の立案・実行 取組み状況の集約
DX推進委員会	各DX施策の推進 取組み状況の共有 横串での改善策検討
DX推進部	全体DX活動の統括 DX施策の推進支援 全社関連DX施策の推進



三菱化工機株式会社